

## 懇談会「ヘルスケア産業のグローバルトレンド～2025年に向けた変化」

開催日： 2017年4月17日(月)

場 所： 経団連会館

来 賓： アイヴィ・テイ The Economist Intelligence Unit (EIU)

ヘルスケア産業部門マネージング・ディレクター

経済広報センターは4月17日、英国のザ・エコノミスト・グループで、世界政治と経済分析・予測を専門とするシンクタンク「ザ・エコノミスト・インテリジェンス・ユニット」のヘルスケア産業部門の責任者であるアイヴィ・テイ氏を招き、2025年に向けたヘルスケア産業の変化をテーマに懇談会を開催した。

テイ氏は、今後のヘルスケア産業は世界的な高齢化の進行、中間所得層の増大により、地球規模で市場拡大が見込まれるとしたうえで、「情報通信技術の進化により、患者、医者、病院・施設、医薬品・医療機器メーカー、保険会社など、さまざまな関係者が高度にネットワーク化され、『ヘルスケアのライドシェア（相乗り）』とも言えるサービスが登場する」との見方を示し、大型医療機器の所有機関に限らず、ネットを通じて当該機器によるサービス提供者が拡大したり、非番の医師による遠隔診療サービスが進んだりする可能性を指摘した。

政策面では、世界各国で医療制度の持続可能性がより大きな課題となっていくことから、今後はより一層、予防医療に重心が移され、健康管理に対する個人の積極的な役割が求められると展望した。



最後にテイ氏は、これらの変化を見据えたうえで、企業には、個人、政府、保険会社などの関係者に対し新たなソリューションを提供する観点から、経営戦略の立案・実施、研究開発活動の推進等が求められると述べた。

以 上